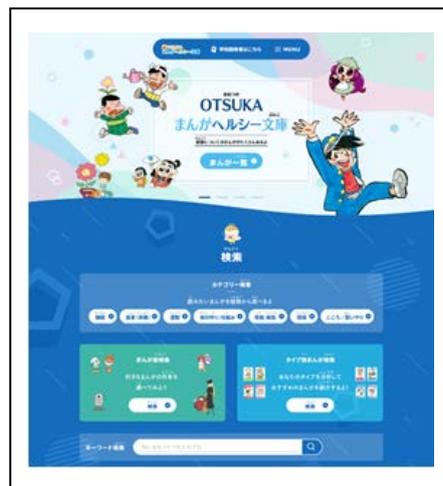


「OTSUKA まんがヘルシー文庫」活動 30 年

～子どもたちの健康への更なる寄与をめざし、ウェブサイトを刷新～

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)は、子どもたちの健康を願って毎年全国の小学校に寄贈している「OTSUKA まんがヘルシー文庫」の活動が、1989 年(平成元年)の創刊*¹ から 30 年となったことを機に、子どもたちの健康への更なる寄与をめざしてウェブサイトを刷新いたしました。

OTSUKA まんがヘルシー文庫は、日本医師会、日本学校保健会の監修のもと、日本小児科医会の推薦を受け、毎年新刊を発行し、全国の公・私立の小学校や特別支援学校、海外日本人学校、国公立図書館などに寄贈している健康支援活動です。毎年、体のつくりや健康・栄養に関するテーマを決め、医師や教諭などの専門家が構成を担当、ちばてつや氏、赤塚不二夫氏(現在はフジオ・プロ)をはじめ著名な漫画家が楽しい漫画に描きおろしています。活動 30 年間には 178 人もの専門家と、35 人の漫画家が制作に携わり、寄贈した文庫はおよそ 118 万冊となりました。



当文庫のウェブサイトには、これまで発刊した 30 冊の漫画から約 100 編を電子化し掲載しています。この度のリニューアルでは、子どもたちの興味に合わせて読みたい漫画を検索しやすくするとともに、季節や健康状況をふまえたお勧め漫画を提案して子どもたちの健康への関心と知識を深めます。また、学校関係者対象のページでは、健康学習や教科学習、特別活動に役立てていただくため現行の小学校学習指導要領*²との対照表を作成した他、子どもたちがヘルシー文庫づくりに参加できる「児童作品募集」の情報提供、学校現場との情報交換を目的とした「健康学習活用研修会」レポートを掲載しています。活動 30 年の節目を迎え、今後も、文庫とウェブサイトの充実をはかり、子どもたちの健康に役立つ活動を継続してまいります。

大塚グループは、‘Otsuka-people creating new products for better health worldwide’の企業理念のもと世界の人々の健康に寄与してまいります。

*1 大塚製薬株式会社が開始

*2 平成 29 年告示

【ご参考】

OTSUKA まんがヘルシー文庫 概要

監 修:公益社団法人日本医師会

公益財団法人日本学校保健会

推 薦:公益社団法人日本小児科医会

制 作:株式会社かまくら春秋社

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ

発 行:大塚ホールディングス株式会社



U R L: <https://www.otsuka.com/jp/comiclibrary/>

30 年間に参加した漫画家

赤塚不二夫、秋竜山、あべさより、石ノ森章太郎、いわみせいじ、岡部冬彦、おぎのじゅんこ、おのえりこ、かなき詩織、幸月さちこ、小山賢太郎、里中満智子、鈴木太郎、鈴木義司、竹宮恵子、種村国夫、ちばてつや、所ゆきよし、二階堂正宏、馬場のぼる、浜田貫太郎、林家木久扇、原子力、ヒサクニヒコ、前川かずお、前川しんすけ、まちやまみつひろ、松本零士、間部正志、百田まどか、やなせたかし、山口太一、柚月ナナ、横山ふさ子、横山隆一（敬称略・50音順）

30 年間に取り扱ったテーマ例

食と栄養、からだのつくり(臓器)、からだの不思議(仕組み)、病気、運動・スポーツと健康、けがと応急法、感染症、健康と心、細菌・ウイルス、水と健康、地球環境と健康、生活習慣と体のリズム、健康診断、等